

Shizuoka University of Art and Culture Faculty of Cultural Policy and Management

芸術文化

Department of Art Management

2026

静岡文化芸術大学 文化政策学部 芸術文化学科

知と実践の
両面から

多様な分野の アートにアプローチ

Department of Art Management

▼
科目群の紹介



芸術を研究するための
土台づくり！

学科基礎

芸術表現A

学科基礎の科目群では、芸術を理解するための基礎的な力を養います。「芸術表現」では、第一線で活躍する芸術家のもとで、作品制作や表現の実際を体験し、芸術の本質について考えます。「芸術文化入門」では、異なる文化・芸術分野のジャンルや、その研究方法の多様さについて学びます。「芸術文化特講」では、音楽、演劇、美術、芸術文化政策など各専門領域の視点から、芸術文化がどのように成り立っているかを理解します。「芸術文化基礎」では、ゼミへの所属を考えるために、文化や芸術に関するさまざまな専門領域をどのように研究するかを学びます。



さまざまな
芸術分野が学べる！

文化と芸術

鑑賞と批評II

文化と芸術の科目群では、専門分野を学ぶ上で必要な、文化や芸術表現の多様性や歴史を概観します。「音楽史・演劇史・美術史」や「文化と芸術」では、各芸術分野の歴史を学び知識を得ながら、アカデミックな研究方法を身につけます。「芸術特論」では、文化や芸術に関する事象を学問的に捉えられるように学習します。「現代芸術論」では、私たちの生きる現代に特有の文化や芸術諸領域に関わる事象を取り上げ、その研究手法を学びます。「鑑賞と批評」では、実際に美術作品を見て、その魅力を味わうとともに、学問的に分析し、それを効果的に記述し伝える力を身につけます。



芸術を支える
仕組みを考える！

政策とマネジメント

現代社会と芸術文化

政策とマネジメントは、社会の中で芸術を支える政策、制度やマネジメントを学ぶ科目群です。「芸術文化政策の国際比較」や「文化財保護政策」、「芸術文化政策の理論」では、日本や諸外国の芸術に関する政策や制度、これに関わる理論、歴史的背景を理解します。また、「文化施設の管理と運営」や3つの「アートマネジメント」科目を通して、芸術に関わる人々や芸術団体の運営の特徴など、芸術の現場・実践に関する知識を習得します。さらに、「現代社会と芸術文化」では、社会課題と芸術の関係を多角的に捉え、芸術活動のあり方を考える力を養います。



現場から学び
実践力を身に付ける！

芸術運営の実践

舞台運営論

芸術運営の実践は、劇場や美術館を中心に、社会の中で多様な芸術活動を実現するための力を多角的に養う科目群です。「劇場プロデュース論」と「舞台運営論」では、公演の企画立案と制作の実際、劇場の社会的役割や運営の仕組みを学び、舞台芸術活動に必要な実践力を身に付けます。「展示プロデュース論」と「保存と修復」では、展示会の企画と展示方法、文化財の保存方法や修復技法に関する知識を実践を通して習得します。このほか、デザイン学部との学部間共通科目で、文化施設等の空間デザインや利用者に視点を置いたデザイン思考も学ぶことができます。

カリキュラム紹介

科目群

日本から欧米・アジア、伝統から現代まで多様な美術、音楽、演劇等と、それを支える社会システムを学ぶことができます。知識面、実践面どちらの学びも大切にする、充実したカリキュラムです。



文化と芸術

- 文化と芸術
- 音楽史
- 演劇史
- 美術史(西洋)
- 美術史(日本・東洋)
- 現代芸術論
- 芸術特論
- 鑑賞と批評

政策とマネジメント

- 芸術文化政策の理論
- 芸術文化政策の国際比較
- 現代社会と芸術文化
- 文化施設の管理と運営
- アートマネジメント
- 文化財保護政策

芸術運営の実践

- 劇場プロデュース論
- 展示プロデュース論
- 舞台運営論
- 舞台技術論
- 保存と修復
- 博物館実習
- 地域連携演習 など

取得可能な資格

博物館学芸員

図書館司書

社会調査士

2025年度～

新カリキュラム 始動中

学科横断型プログラム「オプション・スタディーズ」がスタートし、更に多角的な学びが可能になりました。

詳しくはこちら

カリキュラム
全体の紹介



新カリキュラム
紹介



教員紹介

美意識を視野に入れた企業人や公務員、そしてビジネス感覚をそなえた文化・芸術関係の人材を育てます。

梅田 英春 教授

民族音楽学

「世界音楽」は、現代の多様化する文化や社会の中から「音楽」を見つめるキーワードです。バリ島の音楽や芸能について研究。ガムラン音楽の演奏者としても国内外で活動を行う。

片桐 弥生 教授

日本美術史

美術作品が制作された当時、いかに鑑賞されていたのかを考えることも大切です。源氏物語や和歌などの文学と絵画の関係を中心に研究。

佐藤 良子 准教授

舞台芸術政策論/地域文化振興論

文化芸術に関わる法・制度を知り、現場を担う方々の想いに触れて、音楽や舞台芸術が息づく地域の未来を構想しましょう。音楽や舞台芸術などの活動を持続可能なものとするための政策や地域社会との関わり、その担い手等について研究。

田ノ口 誠悟 講師

西洋演劇史

台詞劇、ミュージカル、オペラ、バレエなどの西洋出身の舞台芸術は、いずれも社会と深い関係を持っています。その関係について作品分析を通して考えてみましょう。フランスを中心に欧米の演劇、舞台芸術を研究。同時に、海外戯曲の翻訳家として演劇創造の現場で活動している。

南田 明美 准教授

共生社会とアート

どのように私たちは「社会的弱者」に寄り添うことができるのだろうか。「芸術の力とは何か」について一緒に考えてみませんか。当事者性を大切にしながら、芸術文化活動を通して「皆が憩える場」「居場所」「心の安全地帯」を創造していくことについて、国内外でアクションリサーチや参加観察を通して考察中。

稲山 玲 准教授

日本演劇史

演劇はコトバ、身体、美術、音楽…と多様な要素から成り立つ芸術です。自分なりの角度から演劇について考えてみましょう。戦後日本の劇作家たちが生み出した作品を研究。テキスト、演出、社会背景、制作環境等を調査し、総合的に作品を考察する。

奥中 康人 教授

音楽学

たくさん本を読み、いろいろな音楽を聴くことは、未来の自分への投資と考えるとよいでしょうね。唱歌、ラップ、鼓笛隊、タカラヅカなどの研究を通して、日本の歴史や現代社会について再考。

上山 典子 教授

西洋音楽史

私たちの日常には音楽があふれています。そんな社会と音楽の関係について考えてみませんか。クラシック音楽を通して西洋の音楽文化を探究中。

高島 知佐子 教授

芸術団体の経営/アートマネジメント

芸術文化団体の長期的・創造的な活動には、「経営」のあり方を考えることも大切です。芸術団体の発展、存続をテーマに伝統芸能などの伝統文化を担う組織や産業を研究。

谷川 眞美 教授

現代美術論/美学

現代美術は今を生きる私たちの美術。社会の動きと密接にかかわっています。現代美術に関する評論や展覧会評を手がけるほか、展覧会企画にも携わる。

永井 聡子 教授

劇場芸術論/舞台芸術史/演劇/劇場プロデュース論

理論と実践を横断し、舞台芸術の未来を探る。公立文化施設のプロデューサーを経て、演劇文化論「劇場プロデュース論」などの授業を担当。本学創立10周年記念ミュージカル『いとしのクレメンタイン』をはじめ、演劇、ダンス公演を多数企画。舞台芸術の世界を研究しています。

藪田 淳子 講師

西洋美術史

美術は知識を得ると、さらに深く楽しんで鑑賞できます。作品をとおり、美術と歴史や社会との関係を考えてみましょう。16世紀のドイツを中心に、キリスト教美術や風景画を研究。本学着任前は美術館の学芸員として展覧会を企画し展示。

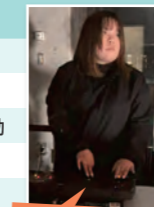
2年生の1週間 覗いてみよう



辻野 珠妃 さん

岐阜県立加納高等学校(岐阜県・本巣市出身)

- | | |
|---|------------------|
| 月 | 1限 ▶ 博物館資料論 |
| | 2限 ▶ サステナブルデザイン |
| | お昼 ▶ 照明・音響研究会の活動 |
| | 3限 ▶ ルネサンス文化史 |
| | 5限 ▶ キャリアデザイン講座 |
| | 授業後 ▶ お茶サークルの活動 |



照明・音響研究会の活動

- | | |
|---|---------------|
| 火 | 1限 ▶ フェアトレード論 |
| | 3限 ▶ 芸術特論C |



お茶サークルの活動

- | | |
|---|------------|
| 水 | 遠隔 ▶ 音楽と社会 |
|---|------------|

- | | |
|---|-----------------|
| 木 | 1限 ▶ アートマネジメントB |
|---|-----------------|

- | | |
|---|--------------|
| 金 | 1限 ▶ 音楽史I |
| | 2限 ▶ 日本文化論 |
| | 3限 ▶ 芸術文化基礎B |
| | 5限 ▶ 異文化と教育 |
| | 遠隔 ▶ 経営学 |



美術館での鑑賞会

- | | |
|----|-------------------------------------------------|
| 週末 | アルバイトや課題をしながら、空いた時間はショッピングやライブ鑑賞をしてリフレッシュしています。 |
|----|-------------------------------------------------|

オススメの授業の取り方

1年生のうちは、教養科目や学部科目を積極的に履修して、自分の興味や新しい「好き」を見つけるのがおすすめです。また資格課程を考えている人は、1年生から必要な科目を計画的に履修しておくとう安心です。2年生では学科科目で専門的な学びを深めつつ、他学科履修にも挑戦すると、幅広い視点や知識を得られると思います。

友人たちとの出会いや対話が、 新しい表現や活動につながっています

3年 鈴鹿 総一郎さん 仁川学院高等学校(兵庫県・尼崎市出身)

私が芸術文化学科でとくに魅力的だと感じているのは、周囲にいる友人たちの存在です。戯曲を書いている人、サークル運営に力を入れている人、演技活動をしている人、作品を制作し展示している人など、それぞれが自分の表現に向き合いながら活動しています。そうした友人たちと食事をしたり、同じ授業を受けたりしながら、授業内で生まれた疑問について語り合う時間は、とても刺激的で貴重なものです。私自身も、周囲の影響を受けながら視野を広げ、現在は浜松市のアーティストの方々と連携し、小学校でのアートプロジェクトにも取り組んでいます。



より多くの人に届けるために
舞台芸術の魅力を



独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場営業部 宣伝営業課

日下 怜子さん **2019年度卒業**

高校時代に人形浄瑠璃の上演を経験し、舞台芸術の奥深さに惹かれました。SUACでは、文化政策やアートマネジメントといった芸術を支える視点から、演劇史や演劇文化論など舞台芸術そのものまで、多角的に学びました。また、劇団で役者をしたり、サークルで音響や照明の裏方を務めたり、薪能公演の企画運営やコンテンポラリーダンスの制作など、多様な角度から舞台に関わる経験を重ねました。

現在は、国立劇場営業部で主に文楽公演の宣伝を担当しています。公演チラシやポスターの作成、取材対応、報道配布用舞台写真の選定、公式SNS更新などを通じて、伝統芸能の魅力を多くの方に届ける仕事です。

SUACで学んだ「準備の大切さ」は、今の仕事に直結しています。舞台制作には多くの人が関わり、それぞれが役割を果たすことで成功につながる。どのような準備をすれば円滑に進められるかを常に考える習慣は、在学中の経験から培われたものです。今後も、多くの方に伝統芸能の魅力を伝え、劇場に足を運んでもらえるよう尽力していきます。

卒業生の主な進路

芸術文化に係る仕事	<p>■文化財団、民間劇場、指定管理者(企業) (株)エスピーエスタくみ、(株)共立ファシリティ・マネージメント、(株)ケイミックスパブリックビジネス、サントリーパブリシティサービス(株)、(株)シグマコミュニケーションズ、(株)博多座、(独)日本芸術文化振興会、(公財)静岡県文化財団、(公財)三重県文化振興事業団、(公財)静岡市文化振興財団、(公財)浜松市文化振興財団、(公財)横浜市芸術文化振興財団、(公財)名古屋市文化振興事業団、(公財)しほね文化振興財団、(公財)豊橋文化振興財団、(公財)豊田市文化振興財団、(一財)稲沢市文化振興財団、(一財)ちりゅう芸術創造協会</p> <p>■実演団体、コンテンツ制作(舞台芸術・映像など) (株)アリス館、(株)静岡新聞社・静岡放送(株)、(株)ニッポン放送プロジェクト、浜松ケーブルテレビ(株)、(株)SBSプロモーション、(株)ピーエーシー、(株)宝塚舞台、(株)若尾総合舞台、人形劇団むすび座、(株)キョードー東京、(株)USEN-NEXT-HOLDINGS</p> <p>■学芸員資格関連 磐田市香りの博物館(学芸員)、小泉八雲記念館(学芸員)、切手の博物館(学芸員)、(公財)日動美術財団(学芸員)、西尾市立一色学びの館(学芸員)、和光市役所(学芸員)、日本通運(株)関東美術品支店、(株)スペース、(株)丹青社、(株)墨仁堂</p>
その他の主な進路	<p>静岡県庁(行政・警察行政)、長野県庁、静岡労働局、静岡市役所、浜松市役所、三島市役所、豊橋市役所、岐阜市役所、松本市役所、盛岡市役所、スズキ(株)、(株)石舟庵、(有)春華堂、チャコット(株)、(株)デンソー、矢崎総業(株)、(株)大丸・松坂屋百貨店、(株)スクウェア・エニックス、遠州中央農業協同組合、(株)静岡銀行、(株)常陽銀行、第一生命保険(株)、日本生命保険(相)、浜松磐田信用金庫</p>
大学院進学	<p>静岡文化芸術大学、静岡大学、東京大学、國學院大學、成城大学、京都工芸繊維大学、立命館大学、愛媛大学</p>

